

女性職員も活躍しています

札幌市消防局には約70名の女性職員が在籍しています。

「誰かの助けになる仕事がしたい。」

幼少期から抱いていたこの気持ちを、私を育ててくれたまち、“さっぽろ”で実現するため、数ある職種の中でも、札幌市消防局の『消防士』を目指しました。



〈毎日勤務〉予防業務

現在は、消火器や誘導灯といった消防用設備等の検査業務を行っています。設備が基準通り適正に設置されているかを細心の注意を払って事務にあたっています。

記憶に残る経験を教えてください。

北海道胆振東部地震での災害対応です。札幌市として初めてとなる最大震度6弱を記録した大地震でしたが、市民のために全職員が一丸となって活動しました。消防の一体感を肌で感じた貴重な経験でした。



〈交替勤務〉指揮隊

消防学校卒業後、災害現場の消防部隊を指揮統制する、指揮隊に役立ちました。刻々と進行する災害現場の情報を扱うことが多く、冷静沈着な行動を心掛けていました。

今後、どのようなキャリアアップを考えていますか？

今まで取り組んだことのない業務にも積極的に挑戦し、将来は、様々な視点から「消防」という仕事を広報していきたいと考えています。

そして市民のみなさんに「消防」が身近な存在だと感じていただくことで、より地域に密着した組織へとなるための一助となれるよう努めていきたいです。

消防を志す女性に一言、メッセージをお願いします。

消防は体力仕事というイメージがあるため、女性の場合、体力面を心配するかもしれませんが、安心してください。半年間の消防学校での生活で自然と必要な体力は身につきます。

また、消防は性別に関係なく、事務部門や現場部門など、様々な仕事にチャレンジできるので、とてもやりがいがあります。

みなさんと一緒に働ける日を心待ちにしています！

消防局には音楽隊があり、希望する職員は参加することができます。私はクラリネットを担当し、ニューイヤークンサートなどで演奏しています。



Q&A 女性活躍に関するよくある質問

女性職員でも交替勤務ができますか？

性別に関係なく、交替勤務に従事することができます。

女性が配属される職場には、女性用の仮眠室が用意されています。



写真：定山派出所(令和3年竣工)女性用仮眠室

出産や子育てをしながら仕事を続けることはできますか？

消防局の職員は地方公務員ですので、一般的な市役所の公務員と同様に、法令等に基づいた支援制度を活用することができます。

産前産後休暇や育児休業の後に復職し、子育てをしながら、さらにキャリアを重ねている職員がたくさんいます。

また、消防の仕事は様々な世代の方と接するので、家庭や子育てでの経験を仕事で活かすことができます。